

令和元年9月9日

保護者各位

鳥栖市立基里小学校
校長 木村 嘉身

平成31年度(令和元年度)「全国学力・学習状況調査」結果の概要について(お知らせ)

平成31年度(令和元年度)全国学力・学習状況調査の結果が文部科学省から公表されましたので、その調査結果をもとに本校の結果について分析をしました。結果の概要についてお知らせします。

なお、以下に示す内容は学力の特定の一部であること、また、学校における教育活動の一側面であることを御理解くださいますようお願いいたします。

1 平成31年度(令和元年度)全国学力・学習状況調査について

平成31年4月18日、下記のような内容で全国一斉に小学校6年生を対象として実施されました。調査内容は、次のとおりです。

(1) 教科に関する調査(国語、算数)
※平成31年度(令和元年度)より、新学習指導要領の考え方に則して、主として「知識」に関する問題と主として「活用」に関する問題を一体的に調査されています。
(2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査
※学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関して調査されています。

2 教科に関する調査結果から全国平均正答率と比較して見える本校児童の姿

(1) 国語について

- ・本校の国語の全体の平均正答率は全国の平均正答率と比較して、上回っていました。
- ・「言語についての知識・理解・技能」については、全国の平均正答率を上回っていました。しかし、「読む能力」については、全国の平均正答率を下回っており課題が見られました。
- ・「インタビューでの質問の工夫を問う問題」や「ことわざの使い方についての問題」については、全国の平均正答率を上回っていました。
- ・「漢字を文の中で正しく使う問題」については、全国の平均正答率を上回っていました。
- ・文と文との意味のつながりを考えながら、接続語を使って文を書く問題においては、全国の平均正答率を下回っており、課題が見られました。

(2) 算数について

- ・本校の算数の全体の平均正答率は全国の平均正答率と比較して、上回っていました。
- ・「数量や図形についての技能」については全国の平均正答率を上回っていました。しかし、「数学的な考え方」や「数量や図形についての知識・理解」については、全国の平均正答率を下回っていました。
- ・「棒グラフから資料の特徴や傾向を読み取る問題」については、全国の平均正答率を上回っていました。
- ・文章問題から必要な数量を選び、立式する問題については、全国の平均正答率を上回っていました。
- ・数量や短い言葉で答える問題については、本校の平均正答率は全国の平均正答率を上回っていましたが、記述式による解答については、全国の平均正答率を下回っており、課題が見られました。

3 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査結果から見える本校児童の姿

- ・「読書が好きですか」の項目では、本校の回答では「当てはまる・どちらかといえば当てはまる」の児童の割合が、全国の割合より上回っていました。
- ・ICTを活用していると思う児童の割合も全国の割合より上回っていました。
- ・「朝食を毎日食べていますか」の項目では、「当てはまる・どちらかといえば当てはまる」の児童の割合が、全国の割合より上回っていました。
- ・「家の人と学校での出来事について話をしますか」の項目では、「当てはまる・どちらかといえば当てはまる」の児童の割合が、全国の割合より下回っていました。
- ・授業で学んだことを他の教科で生かしたり、学級での話し合いを生かしたりして、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいると思う児童の割合が、全国の割合より下回っていました。

4 今後の改善策（児童の力をさらに伸ばすために）

(1)授業の工夫・改善を行います。

- ・1時間の授業の流れを全校で統一し、めあてとまとめを明確にした授業を行います。
- ・授業のユニバーサルデザイン化のために、学習の流れを示すカードを提示したり、電子黒板を活用して内容を視覚的に捉えさせたりする授業づくりに取り組みます。
- ・話し合う活動にスムーズに取り組むことができるように「学び愛 タイム」を設定します。また、自分の意見や相手の意見を聞くためのポイントを指導します。
- ・授業の中で、児童に考えさせる場面や話し合わせる場面を多く取り入れるように工夫します。

(2)授業以外の時間にも、学力向上の取り組みを行います。

- ・木曜日の「スキルタイム」で、四則計算などに取り組み、基礎・基本の定着を図ります。
- ・木曜日の昼休みに学習会を行い、基礎・基本の補充学習を充実させます。

(3)自分で学び続ける習慣を身に付けさせます。

- ・「家庭学習重点週間」を今後も継続することで、家庭学習の習慣を定着させます。
- ・自主学習（自学）ノートを奨励し、点検、添削を行うことで、よりよい家庭学習になるようにします。

- ・家庭でも次のようなことに心がけてください。

1 家庭での学習時間をつくってください。

【学習時間：1・2年生 30分 3・4年生 45分 5・6年生 1時間以上】

- ◎学習する時間や時間帯を決め、取り組ませることで学習習慣を身に付けさせましょう。
- ◎テレビを見る時間やゲームをする時間を決め、長時間にならないようにしましょう。
- ◎苦手教科やテスト直し等復習を中心とした自主学習に取り組ませましょう。

2 生活のリズムを整え、お子さんとのコミュニケーションの時間を大切にしてください。

- ◎早めに起床し、必ず「朝食」を食べるように声掛けをしましょう。
- ◎学校での出来事等について、話したり聞いたりするようにしましょう。
- ◎最近読んでいる本の内容や新聞やテレビの話題について話し合いましょう。
- ◎お子さんががんばったことや良くできたことを、積極的にほめましょう。
- ◎親子で読書をする時間をもちましょう。

【本校の目標冊数：1・2年生 150冊 3・4年生 100冊 5・6年生 80冊】